

ワークショップ

令和4年度サウジアラビアにおける省エネルギー推進ワークショップ（運輸部門） の実施について（オンライン）

〈開催日時〉 令和4年12月19日（月）14：45～16：15

〈開催場所〉 日本側：AP浜松町 Cルーム

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンター（ECCJ）は、2022年12月19日、サウジアラビアと日本の共催で日サウジ自動車技術高等研修所（SJAHI）を対象にオンラインワークショップを開催しました。

サウジアラビア王国では、貴重な炭化水素資源を活用し、皇太子殿下が発表された「炭素循環経済」アプローチにより2060年にネットゼロを目指すために、エネルギー効率化が重要な政策課題となっています。日本政府は、同王国におけるエネルギー効率化への挑戦を支援するため、エネルギー効率化の多くの分野で同王国と協力を行っております。本ワークショップは、この進展を継続させるため、同王国と日本の専門家が経験を共有し意見交換を行うことで、将来のエネルギー効率化の専門家として同王国の若い世代を育成するとともに、運輸分野におけるエネルギー効率化を推進する新たな戦略を策定することを目的としています。

本ワークショップにおけるテーマは以下の通り。

- (1) サウジアラビアにおける自動車のエネルギー効率向上について
- (2) 電動車両技術と2050年に向けたカーボンニュートラルについて（JAMA）
- (3) エコドライブのコツ（サウジ側学生発表）
- (4) ハイブリッド・シミュレーター・プロジェクトについて（研修所インストラクター発表）



右から新村総領事、SJAHI校長、METI猪口氏、JAMA大須賀氏、SEEC（Muad Aunaizan氏）、SJAHI会場の様子

SJAHI校長のSalim H. Alasmarei様からの歓迎の挨拶に続き、開会の辞は経済産業省より猪口相様、祝辞は在ジッタ日本国総領事館総領事 新村出様から頂戴いたしました。

参加者はSJAHI学生400名、オンライン60名、の計500名弱程となり、有意義な質疑応答が行われ運輸分野におけるエネルギー利用の効率化の方法について知見・経験を共有することができました。